

令和 4 年度手話施策に関する意見交換会 「旭川市手話言語条例のこれまでとこれから」アンケート集約

来場者数 46 人（会場 28 人，Zoom 18 人）

回答者数 36 人（聴覚障害者 5 人，手話サークル等関係団体に所属 26 人，その他 5 人）

●講演について，ご意見・ご感想等をご記入ください。

- ・ かつぱのこの出前講座の報告を聞いて，子どもが小さいうちから手話を学ぶことが大切と感じました。市内の幼稚園・保育所でも市から積極的に呼びかけて学ぶ体制を構築してほしいです。学校でもカリキュラムに盛り込めるよう学校教育部と連携して実現すべきと考えます。石狩市の事業を参考にして聞こえない人たちの社会の充実を願います。
- ・ 旭川の条例スタートから 7 年。あらためて今後の活動を考える機会となりました。
- ・ 手話普及を広く実施していること，失聴者にとってありがたいです。手話を学んでくれる人は難失聴のことを理解してくれます。
- ・ 石狩市の市役所にある大きい画面で手話単語等を流しているという話がありました。旭川も同じようなことができれば良いと思いました。
- ・ 手話を学ぶ「場」，分かりやすい内容で良かったです。石狩市の内容について市役所が一丸となって推進してくれていることが，大変うれしく思いました。
- ・ こども出前講座を孫と受けたことがありましたが，色々と工夫してくださり，楽しいひととき，今でも自分の名前だけはできるようです。石狩市の取組「すばらしい」一言です（子どもの頃から手話を見聞する）。旭川も今一度大いに盛り上がり，期待しています。
- ・ 石狩市の先駆的な取組が参考になりました。特に小中学校での手話普及が進んでおり，旭川の課題が見えてきました。また，周知啓発の取組を参考に旭川でも行う必要があると感じました。
- ・ 出前講座を受けた当事者の体験談はリアルに伝わってきて良かったです。
- ・ 出前講座が旭川市でももっと普及してほしいと思います。
- ・ 手話通訳の方達が素晴らしい。旭川市民みんなに手話言語を覚えてもらい，町中で手話会話ができるようになってほしいと思います（スーパーとかでの話）。
- ・ 人口の割にはまだまだですが，児童クラブとか小中学校でもやっていることは知りませんでした。時間があればどんどん指導をお願いしたいところです。
- ・ 手話出前講座の児童クラブの経験談を聞いて，積極的な子ども達の学ぶ姿勢が頼もしく思いました。石狩市役所の方から先進自治体の取組を聞けて，旭川市の取組をさらに進めてほしいと思いました。令和 6 年の手話劇祭が楽しみです。
- ・ パネルとパソコン情報があって分かりやすかったです。
- ・ 手話に興味・関心を持ってもらうためには，聞こえない人との交流の機会が大切だと思いました。
- ・ 旭川は手話講座は充実してきているようですね。石狩市は市全体をろう者の住みやすい環境に変えていく取組がなされている印象があり，旭川もそうなってほしいです。
- ・ 私が手話の勉強を始めたときに市手話条例が可決したことを知りました。中級・レベルアップを終了し養成講座に進み登録通訳となりましたが，条例ができるまでの流れを知ることができて，またこれから自分が支援できる立場での責任など改めて感じました。

- ・ 市からの話では、丁寧にわかりやすい話を聞いて良かったです。特に石狩市の出前講座では、旭川市と比べ拡大したこと驚きまして手話が言語だと伝えるということをもず市職員の方に理解を広めていく必要があると改めて感じました。又バーコードで見ることができる（動画を見れる）。
コロナ対策→町内会回覧「紙面で手話を学べるよう」と認識したらよいかと思いました。
- ・ 住みやすい街づくりが今後の旭川の焦点になるのではないかと考えます。
- ・ 石狩市の取組にある小中学校での手話講座の実施校・回数に石狩市の取組の素晴らしさと本気度を知りました。また、まちづくり条例の視点が福祉に留まらない共生への指針であると感じました。
- ・ 石狩市の手話言語条例がなくても良い状況を目指しているという話が心に残りました。
- ・ 転居者として「手話言語条例」に関する経過等を把握したく参加しました。施行までの取組・現況等、市の説明は解りましたが、全国初のろうあ者相談員設置、ろうあ者自身でろうあ福祉会館を建設したのも旭川が全国で最初です。先駆的人材の多い中で、市の考え方の根っ子で、福祉分野と捉えていたのでは？淡々とした説明で惹かれる内容ではなかったです。石狩市の話はエネルギーが伝わってきました。広報・町内会など巻き込んで繋げていく等、石狩の草の根活動を考えて下さい。
- ・ 石狩市の手話言語に対する取組はとても参考になりました。旭川はまだまだ手話に対して「特別な言語」という意識が強いと感じます。ですが、少しずつ手話への偏見がなくなり、手話への憧れという、意識に変化してきているとも感じます。手話を学ぶ事に誇りを感じます。
- ・ 普及については、課題を同じくすることを考えますと、道内他市の取組を学び合う機会はとても貴重だと感じました。
- ・ 盛りだくさんの内容で、もう少し時間を取ってゆっくり聞きたかったと思いました。実際に出前講座を利用された方のお話が聞いて良かったです。もっと宣伝に力を入れて、教育現場、医療現場、商業施設などで出前講座を広め、手話に興味を持つ人が増えていくといいと思います。
- ・ 石狩市の手話言語条例に対しての考え方の、「福祉条例」ではなく「まちづくり条例」だという考え方に強く共感します。将来的に、手話が特別ではない世の中になっていくために、今は出前講座や学ぶ会などの入り口がたくさんできればいいと思います。
- ・ 旭川市の手話を学ぶ会ですが、希望者がかなり多いと思います。私が初級手話を学ぶ会に入会した時(H29)ですら抽選が行われていました。大変なのは重々承知していますが、なんとか手話を学べる機会が増えればいいなと思います。
- ・ 出前講座などを通じて、子供の頃から手話に触れる機会がある方が増えていることは素晴らしいと思います。
- ・ 旭川市でも手話は言語であるとの認識に基づき...と条例にありますが、石狩市の条例の理念「手話は言語」である事の理解を広めるためのものは、それをより強く感じそれを伝えるための方法ということも共感できました。
- ・ 子供さん達の心に響く、手話出前講座の体験談が聞いて、とてもうれしくなりました。
- ・ 今回の様な講演は初参加だったのでこの様な機会を度々増やしてほしいです。

● パネルディスカッションについて、ご意見・ご感想等をご記入ください。

- ・ 石狩市と旭川市の差が大きく今後の課題として推進会議で検討すべきと考えます。災害時の支援について自治体で工夫しているのが多く、石狩市、兵庫県などガイドラインを参考にしてほしいです。聞こえない人、聞こえる人の命を守るために早急に取り組んでほしいです。聞こえない人の声を真剣に受け止めてほしいです。
- ・ それぞれの立場での思いを聞くことができ、今後の課題が見えてきたのではないのでしょうか。
- ・ 今後、望むこと等の当事者の声も聞きたいほうが良いです。そうすることでの的を射た支援ができるのではないのでしょうか。
- ・ バンダナすごく良かったです。旭川市も色々進むと良いと思いました。
- ・ 中川氏がおびったの電光掲示板は同じ内容を繰り返し表示されている、地震の時は表示が変わるのか心配だと話をされていました。実際どうなのか知りたいです。
- ・ 条例は7年目になると聞きましたが、本当に手話が広まっているのか。きちんと情報が得られる様をお願いしたいです。
- ・ 旭川市でも積極的に取り組んでほしいです。
- ・ 中川氏の課題全てにうなづけました。今後のサークル活動の参考にさせていただきます。情報は必要です。
- ・ 小中学校の手話普及事業に関しては、障害福祉課担当のみでは限界があります。旭川市教育委員会と連携し合って取り組む必要があるのではないのでしょうか。是非、旭川市長のトップダウンで実施してほしいです。旭川市と石狩市の手話の取組の違いを感じました。バンダナを旭川市も作ってほしいです。
- ・ 中川氏のお話とてもよくわかりました。知らないことがたくさんあり、勉強になりました（情報がないこと）。
- ・ 災害情報は早く伝わる方法を見つけてほしいです。石狩市のバンダナは良い方法の一つだと思います。条例と意識しないで手軽に教えてほしいです。
- ・ 中川氏の率直な意見に旭川市もさらに施策をすすめてほしいと思いました。
- ・ 市の広報などにあいさつ、天気などの手話表現が載ったらいいと思います。市民の皆さんに手話を広めてほしいです。
- ・ 中川氏の「(きこえる人と同じ) 情報がほしい」手話通訳がつくようになってきていますが、まだまだということなんだと考えさせられました。
- ・ 参考になるいい話が聞けましたが、時間が短すぎました。
- ・ ろう者の方々は情報保障を第一に現在求めていることがわかりました。是非、情報提供施設の設置を御検討ください。
- ・ 市職員も市民であると思います。市職員の意識・理解に差があるように感じました。石狩市の手話祭りの取組もホームページで見ましたが、まちづくりと福祉行政の違いを感じました。

- ・ 手話講座受けていますが、まだわかっていなかったことたくさんあります。また少し知れて良かったです。
- ・ 石狩市、旭川市、ろうあ協会の方達の意見交換で、自分も当事者として勉強になることばかりでした。
- ・ 全ての人が石狩市の担当者に問い掛ける状態で、旭川市担当者の「座っているのが恥ずかしい状態…」の言葉につきます。ろうあ協会中川氏「情報提供施設が欲しい！」障害者みんなの願いです。旭川は災害の少ない地とか？津波・水害等の心配がない為か「備え」等の話も話題になることは少ないです。役所側から住民への働きかけがあればいいなと思っています。
- ・ 積極的な意見交換があり良かったです。手話通訳者の待遇についても具体的に聞きたかったです。
- ・ 限られた時間のなかで、有意義なものになったと感じます。質疑は、時間の関係で一人だけであるのは仕方ないと思いますが、旭川市主催であったことを考えますと、他の方(市民、ろう協、関係団体など)からの質問をお聞きしたかったと思います。
- ・ 時間が足りない感じで、もう少し突っ込んだ深い話ができたら良かったと思いました。災害時に実際にどんなことで困ったのか、どういう支援が必要だったのか、どういう体制があると安心できるのか、具体的な話を中川氏に聞いてみたかったです。石狩市では実際に災害時にどうだったかも聞きたかったです。バンダナが役に立ったのか、障害を持った方からどんな声が上がっていたかなど、こちらも具体的なお話をもっと聞きたかったです。
- ・ 中川氏の「とにかく情報が欲しい」という発言をお聞きして、手話言語への理解と共に、ろうの方はもちろんのこと障害のある方々の生活について、市民にもっと理解を深めていただく施策が必要だと思います。また情報提供のための ICT の普及は急務だと強く思います。
- ・ バンダナがはっきり見たかったです。全体的にいいお話が聞けて良かったです。
- ・ 映像が遠く不鮮明だったのでパネルディスカッションの判別は無理でした。

●今後の旭川市の手話施策に関し、「手話の普及」「緊急時における聞こえない・聞こえにくい方への支援」等について、ご意見やご要望があればご記入ください。

- ・ 手話施策に特化すると生ぬるいと思います。推進会議で議論されているのかどうか目に見えてこないです。命に関わる事業が進んでいないことに不安を感じます。先進市の事例をぜひとも参考にすべきです。出前講座だけが事業ではないはずです。5年を過ぎた条例の見直しはあるのですか。
- ・ 聴覚障害者のための「情報提供施設」の早期設置をどうぞよろしくお願いします。「おびった」への WiFi 導入へ、どちらも災害時への対応についてよろしくお願いします。
- ・ 条例第 16 条の充実を図ってほしいです。役所の窓口で意思表示が難しいです。何回も私は聞こえないので筆談対応と頼んでも、渋々応じてくれることを何回も体験しています。これからは高齢化社会で難失聴者が増加するので、手話と同じくらい要約筆記者の増加、窓口職員の対応等を充実させてほしいです。全職員にアンケートを取り、どのような困ったこと、またその対応をしたかを出してもらい、それをもとに難失聴者とともに改良していく。身障者に自然に対応している姿を子ども

も達に見せることが教育かと思います。それが差別、いじめの皆無に結びつきます。

- ・ あさひかわ広報。動物園のコラムの近くに“今月の手話”など、簡単な手話の歴史などを載せてもらいたいです。（市の公共施設に手話単語を表示など。小学校、中学校の学級文庫においてもらえるような手話パンフレット。）
- ・ もっと町内会にも広めてほしいです。そのためにも広報にも単語を載せるのは良いですね。
- ・ 市民達に手話の理解のため広めたいです。
- ・ 福祉づくりではなく街づくり。モデル校づくりを進め子ども達から教え導く市政づくりを望みます（タブレット等の利用）。災害時の情報をもっと具体的に取組んでいただきたいです。
- ・ 第 7 回全国手話言語市区長会手話劇祭が旭川市に決まりうれしく思います。是非 PR に力を入れて一人でも多く旭川市民に参加していただくよう取組んでいただきたいです。2 年後の 2025 東京デフリンピックの PR をはじめ、有名人の招へい、幼児の手話コーラスなど、盛りだくさんな企画を期待します。
- ・ 聴覚に障がいのある方々の情報保障について、災害や緊急時に確実に伝わる努力が必要と感じました。誰一人も取り残されることのないようにしなければならないと思います。
- ・ 今後も手話を学べる場をつくってほしいです。手話出前講座を続けてほしいです。障害の方と触れ合える場（イベント的なもの）をつくってほしいです。良いことはすぐに取り入れてほしいです。もう一度、職場でも手話を広める工夫を考えたいと思いました。
- ・ 手話の広めてほしいのみです。わくをあまり作らず。誰でも気軽に。
- ・ 予算の制限もありますが、石狩市に並ぶくらいがんばってください。よろしくお願いします。
- ・ 旭川市でも手話を広めて皆さん聴覚障害者が困らないようにお願いします。
- ・ 石狩市の進んでいるところ、旭川市の良いところ等知ることができましたが、10%位の人しか条例を知りません。石狩は協会やサークルの協力を得て進めていいです。タブレットも20台設置等素晴らしいことだと思います。また条例のみならず聞こえる人が普通に手話で会話する、難しく考えないで英語のように使うことが必要だと思います。
- ・ 出前講座の依頼数件、受講団体が少ないので小中高校で全校に行ってほしいです。
- ・ まずは市職員を対象とする出前講座を開いてほしいです。
- ・ 広告の中に導入する手話及びバーコードで見れる動画に付けてほしいです。
- ・ 制限せずに市民及び町内会だよりに手話関連単語を記載してほしいです。
- ・ 令和 6 年手話劇祭開催に向けて、今年度からすぐに手話普及活動を更に増やしていくことが必要だと思います。こども向けのものをもっと教えていただき、幼い時期に手話に触れることが大切だと感じます。
- ・ こういう会があることも知らなかったです。旭川市の一人として、市の施策が良い方向に進むよう努めます。
- ・ まだまだ手話の普及が足りないと思います。広報誌や市のホームページなどを活用して、もっと普及するための活動を活発にしていきたい。手話動画もあんまり UP されてないです。

- ・ 上に立つ人の考え方や熱意で、施策内容や取組方も大きく変わっていると思います。
- ・ 鳥取県の平井知事が講演で「言語条例」について話されたことがあり「今まで何もしてこなかったのだから予算が倍増して当然」「教育関係予算・議会関係予算・福祉関係予算などあらゆる分野で進め、制限しない」と話されました。数年後、ろうあ協会幹部より「条例施行後」の状況報告がありました。5 倍・6 倍と毎年膨らんでいる。手話指導資格取得者にも補助がある。ろうあ者自身に変化が出て、横の繋がりが広がっている。との事でした。夢物語でしょうか。
- ・ 大きな病院に手話通訳者を配置出来れば良いと思いました。そうしたら、手話通訳者がいる病院を選んで行きやすくなるし、受診率も上がり健康への意識も上がると思います。
- ・ 旭川市は、ろうあ者相談員をいち早く設置するなど、先進的な取組をされてきたことを知り、もともと、理解のある地域なのだと強く感銘を受けました。中核市であることを考えますと、その功績は大きいと感じます。今後も、様々な取組が進みますこと、またこれを機に、石狩市との交流が深まり互いの発展に繋がりますことを切に願っております。
- ・ 検討委員会が今どういう話し合いをしているのか、検討委員会での議題や挙げられている課題など活動状況がもう少し知りたかったです。全国手話言語市区長会手話劇祭が旭川で開催予定となりましたが、私はまだ勉強不足で、そういう団体があることも、手話劇行事が今までも行われていたことも知りませんでした。市民にアピールするとても良い機会になりますので、ぜひ素晴らしい内容のものにしてほしいと思います。2025 年には日本でデフリンピックが開催されますし、昨年のも二つのドラマの影響で手話に興味を持つ方が増えている今がチャンスだと思います。二年後を見据えて今年は飛躍しなければならない大事な年になると思います。石狩市のように、福祉の施策ではなく「まちづくり」として旭川の街全体に手話言語が広く浸透していくような施策を期待しています。
- ・ 石狩市は、広報に載せたり、公共施設のトイレに手話単語紹介、出前講座の多さ等素晴らしいと思いました。旭川ももっとやって下さると良いのにと感じました。
- ・ 来年の手話劇祭を盛り上げ、成功することを目標とすることで、手話施策の推進が期待できるのではないかなと感じました。
- ・ 年に 3 度ほどの会議では時間的に足りないのではと思います。これからも、ろうの方の意見を取りいれて手話の輪が広がるよう希望します。
- ・ 石狩市での医療機関等のタブレット配置や災害時のツール（聞こえません 通訳出来ます)の活用を手本にして旭川でも早急な取組を希望します。